<H15-6-A：解説>

1. 正しい。UTM 図法は６度ごとの経度帯であり、それごとの原点を持つ。
2. 正しい。直角座標法と投影法が同じ。
3. 正しい。中央経線に対して経緯線網は対称となる。
4. 誤り。緯度が同一なら子午線長は中央経線から離れるほどに長くなる。
5. 正しい。縮尺係数は１８０ｋｍで 1.0000 となる。

解答：４

<H15-6-B：解説>

南東のＤかＥのうち、南方 12.5″、東方 8.5″からＤを選択。
ある地点の経度緯度がそれぞれ-8.5″、-12.5″修正がされるのであるから、経緯度を従前と同様に保つためにはこの修正量が逆に向くことになる。

解答：４

<H15-6-C：解説>

問題文にある通り、4mm 方眼を引いて標高 10m の等高線を追い、升目を数える。些末な部分は切り捨てたほうが、誤差が少ない。

解答：３

<H15-6-D：解説>

1. 正しい。建物以外との線データの重複には注意を要する。
2. 正しい。閉曲線の始終点の座標値は同一である。
3. 正しい。図郭付近でのデータ落ちは多いものである。
4. 正しい。属性取得等は過失のおきやすい作業である。
5. 誤り。河川中心線は閉曲面ではなく、線データである。但し河川自体はポリゴン(閉曲面)で表されるが、これに惑わされないように。

解答：５

© Sey Q‘xara ＆ © Matsubara P.O